

2017年3月期 期末 決算補足説明資料

決算発表 2017年5月12日

三櫻工業株式会社

(証券コード：6584 東証一部)

■ **2017年3月期 期末決算概要**

■ **2018年3月期 業績予想**

■ 2017年3月期 期末決算概要

■ 2018年3月期 業績予想

2017年3月期 連結損益状況：対前期



連結	2016年3月期 実績		2017年 3月期 修正予想	2017年3月期 実績		対前期		対修正予想	
	金額 (百万円)	売上高比 (%)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	売上高比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	133,968	100.0	132,000	133,794	100.0	▲174	▲0.1	+1,794	+1.4
営業利益	6,441	4.8	5,100	6,004	4.5	▲437	▲6.8	+904	+17.7
経常利益	4,389	3.3	3,400	5,389	4.0	+1,000	+22.8	+1,989	+58.5
当期純利益*	▲724	▲0.5	900	1,074	0.8	+1,798	—	+174	+19.3

*親会社株主に帰属する当期純利益

● 2017年3月期 業績のトピックス（対前期）

- 売上高：円高による為替換算影響により減収
- 営業利益：ドイツ子会社の生産混乱による欧州セグメントの減益、及び円高による減益影響
- 経常利益：為替差損の減少
- 当期純利益：固定資産の減損損失の減少

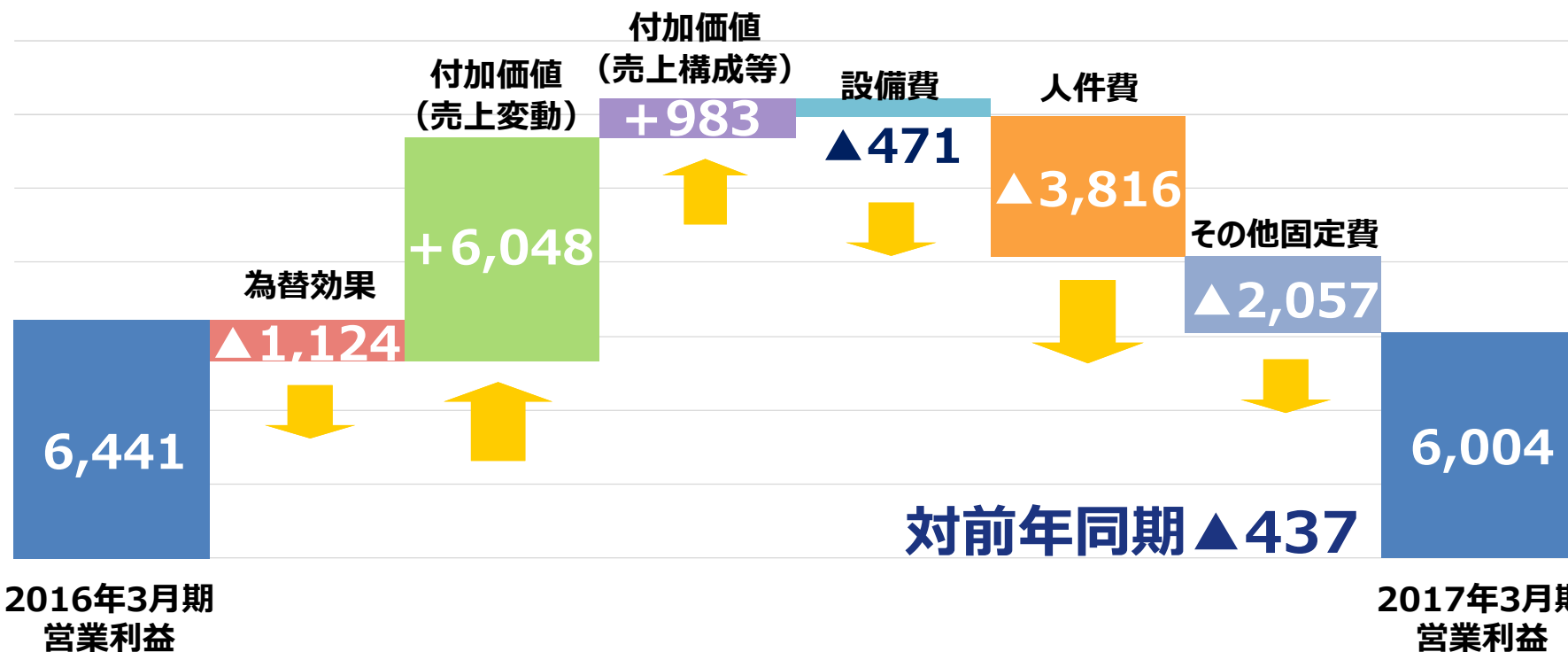
● 為替の状況

損益換算レート (単位：円)	2016年3月期 平均レート	2017年3月期 平均レート	変動 (%)	2017年3月期 想定レート
ドル	121.1	108.8	▲10%	107.0
ユーロ	134.3	120.3	▲10%	119.0
ポンド	181.3	141.6	▲22%	141.7
メキシコペソ	7.7	5.8	▲24%	5.9
人民元	19.2	16.4	▲15%	16.3
タイバーツ	3.5	3.1	▲13%	3.1

(注) 2017年3月期想定レート：
2017年3月期 通期業績値の修正予想（2016年11月10日
公表）の算定に用いた想定レート

● 営業利益要因別増減分析：対前期

(単位：百万円)



▶付加価値（売上変動）：米州+1,579、アジア+1,256、中国+1,248、欧州+1,209、日本+412 他

▶人 件 費：主に売上増加に伴う増加。その他、下記の増加影響もあった。

- ドイツ子会社の生産混乱等に伴う増加
- 中国・メキシコ・アメリカでの新規工場立上げに伴う費用先行

▶そ の 他 固 定 費：ドイツ子会社の生産混乱等に伴う増加、中国・メキシコ・アメリカでの新規工場立上げに伴う費用先行

(注) 付加価値、設備費、人件費、その他固定費の増減額は為替変動の影響を除外した上で、増減額を算定しております。

2017年3月期 地域別状況



	売上高			営業利益		
	2016年3月期 実績	2017年3月期 実績	対前期 増減	2016年3月期 実績	2017年3月期 実績	対前期 増減
日本	51,568	52,503	+934	876	1,348	+472
米州	47,296	45,455	▲1,842	3,340	3,985	+645
欧州	24,102	23,492	▲610	56	▲1,193	▲1,249
中国	13,609	14,397	+788	574	325	▲248
アジア	17,249	18,586	+1,337	1,138	1,482	+344
調整	▲19,857	▲20,638	▲781	457	56	▲401
合計	133,968	133,794	▲174	6,441	6,004	▲437

● 2017年3月期の地域別業績のトピックス

- ▶ 日本：主に中国・アジア子会社向け売上が増加して増収増益
- ▶ 米州：現地通貨ベースではメキシコ子会社の売上増加により増収増益であったが、円高による換算影響により円換算後では減収
主に北米の客先向け売上が増加
- ▶ 欧州：現地通貨ベースでは売上が増加したが、円高による換算影響により円換算後では減収
ドイツ子会社における生産混乱対応費用が増加したほか、新規工場立上げによる費用先行により減益
- ▶ 中国：小型車優遇税制による客先生産・販売台数の増加により増収となったが、新規工場立上げによる費用増加や品質関連費用の増加により減益
- ▶ アジア：タイにおいて前期に立上った新規受注製品の生産・販売が順調に増加、インドネシアにおいても客先生産・販売台数が増加し増収増益

2017年3月期 連結損益状況：対前期



連 結	2016年 3月期 実績	2017年 3月期 予想	2017年3月期 実績			主な増減要因 (金額は百万円)	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	対前期			対予想
				増減額 (百万円)	増減率 (%)		
営業利益	6,441	5,100	6,004	▲437	▲6.8	+17.7	
営業外 損益	営業外 収益	306	—	370	+65	+21.3	—
	営業外 費用	2,357	—	985	▲1,372	▲58.2	— ・為替差損の減少▲1,290
経常利益	4,389	3,400	5,389	+1,000	+22.8	+58.5	
特別利益	6	—	43	+36	+580.9	—	
特別損失	2,785	—	1,958	▲827	▲29.7	— ・減損損失 前期 2,443 当期 1,121 ・製品保証引当金繰入額 前期 なし 当期 635	
連結税引前利益	1,611	—	3,473	+1,863	+115.6	—	
法人税等	1,794	—	1,873	+79	+4.4	—	
非支配株主利益	541	—	527	▲14	▲2.6	—	
当期純利益 *	▲724	900	1,074	+1,798	—	—	

*親会社株主に帰属する当期純利益

2017年3月期 連結損益状況：対修正予想



連結	2017年3月期 修正予想		2017年3月期 実績		対修正予想		主な増減要因 (金額は百万円)
	金額 (百万円)	売上高比 (%)	金額 (百万円)	売上高比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)	
売上高	132,000	100.0	133,794	100.0	+1,794	+1.4	
営業利益	5,100	3.9	6,004	4.5	+904	+17.7	
経常利益	3,400	2.6	5,389	4.0	+1,989	+58.5	第2四半期累計期間において、円高の進行により三桜単体及び海外現法が保有する外貨建債権・債務からの為替差損▲1,512が発生していたが、第4四半期において円安に戻ったため、為替差損が累計で▲434に減少した。 (+1,078増益)
当期純利益*	900	0.7	1,074	0.8	+174	+19.3	①第2四半期累計期間において、固定資産の減損損失▲489を計上していたが、第4四半期において減損損失を計上したことから減損損失は累計で▲1,121となった。 ②第4四半期において製品保証引当金繰入額▲635を特別損失に計上した。 これらの影響があったものの、経常利益の増益影響の方が大きかったことから当期純利益は修正予想値を上回った。

*親会社株主に帰属する当期純利益

2017年3月期 連結財務状況：対前期末



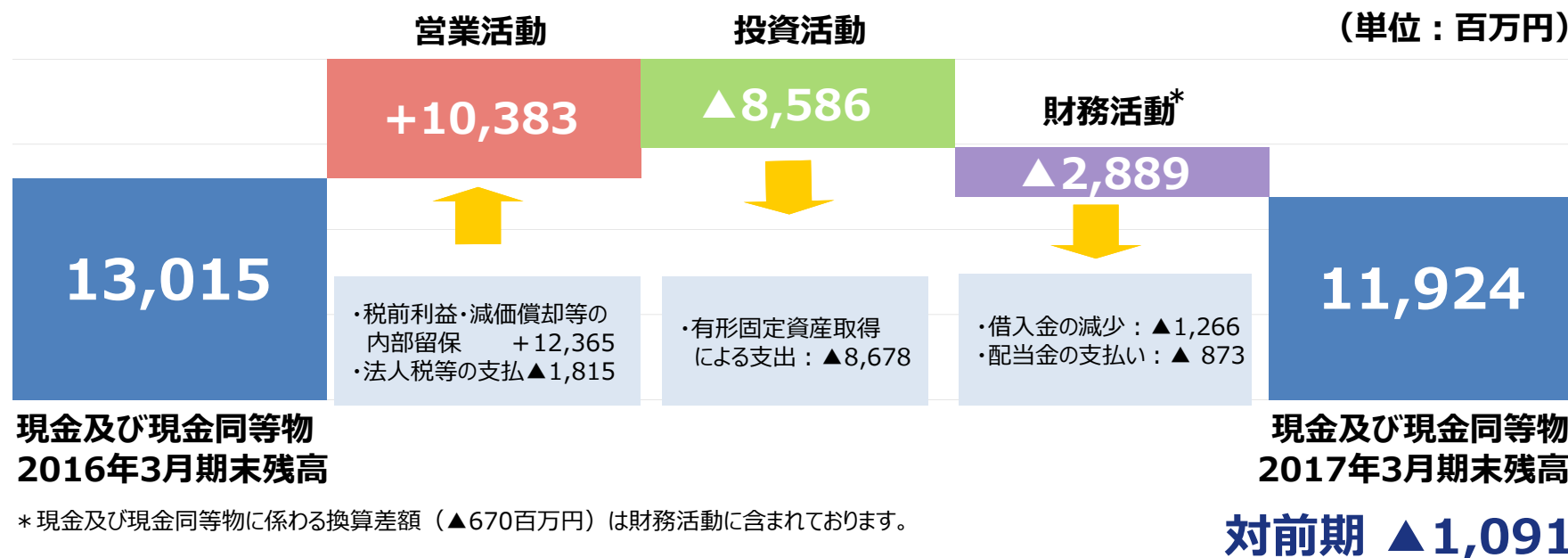
連結	2016年3月期末		2017年3月期末			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前期末 増減額 (百万円)	主な増減要因 (金額は百万円)
流動資産	55,374	53.1	54,889	52.7	▲485	流動資産 ①現金及び預金 : ▲1,091 ②売上債権 : + 839
固定資産	48,860	46.9	49,330	47.3	+470	固定資産 ①投資有価証券 : +1,640 (上場株式の評価替) ②繰延税金資産 : ▲ 875 (退職給付債務減少)
資産合計	104,234	100.0	104,219	100.0	▲14	
流動負債	33,673	32.3	36,185	34.7	+2,512	流動負債 ①仕入債務 : + 794 ②製品保証引当金 : + 691
固定負債	35,472	34.0	32,453	31.1	▲3,019	固定負債 ①退職給付に係る負債 : ▲1,153 (※1) ②長期借入金 : ▲2,042
負債合計	69,145	66.3	68,638	65.9	▲507	
純資産合計	35,088	33.7	35,581	34.1	+493	利益剰余金 : + 200 有価証券時価評価差額 : +1,080 (上場株式の評価替) 為替換算調整勘定 : ▲2,765 (円高による影響) 退職給付に係る調整累計額 : +1,619 (※1) 非支配株主持分 : + 358
負債純資産合計	104,234	100.0	104,219	100.0	▲14	

※1. 当社が加入する厚生年金基金の代行部分について2016年10月1日に将来分支給義務免除の認可を受けたことに伴う、退職給付債務の減少

2017年3月期 連結キャッシュ・フローの状況



● 2017年3月期 連結キャッシュフローの状況



● 設備投資（連結）の状況

(単位：百万円)

	2016年3月期 実績	2017年3月期	
		実績	対前期
設備投資額	8,475	8,678	+203
減価償却費	6,302	5,352	▲950

■ 2017年3月期 期末決算概要

■ 2018年3月期 業績予想

2018年3月期 業績予想：対前期



連結	2017年3月期 実績		2018年3月期 業績予想	
	通期 (百万円)	通期 (百万円)	対前期	
			増減額 (百万円)	増減率
売上高	133,794	138,000	+4,206	+3.1%
営業利益 【営業利益率】	6,004 4.49%	5,700 4.13%	▲304	▲5.1%
経常利益 【経常利益率】	5,389 4.03%	5,600 4.06%	+211	+3.9%
当期純利益* 【当期純利益率】	1,074 0.80%	2,000 1.45%	+926	+86.3%
一株あたり純利益 (円)	29.50	54.95	+25.45	
配当 (円)	24.00	25.00	+1.0	

為替レート	2017年3月期 実績		2018年3月期 業績予想	
	通期レート (円)	通期レート (円)	対前期	
			増減額(円)	増減率
米ドル	108.8	108.0	▲0.8	▲0.8%
ユーロ	120.3	114.0	▲6.3	▲5.3%

● 売上高の変動要因

- ・米州、アジア、日本の売上高が増加

● 営業利益の変動要因

- ・アジアの売上高増加に伴う利益増加
- ・ドイツ子会社の生産混乱収束、採算性改善

- ・メキシコ子会社の人件費上昇・材料価格上昇
- ・研究開発活動等の拡大

● 当期純利益の変動要因

- ・減損損失・製品保証引当金繰入額が減少

*親会社株主に帰属する当期純利益

このプレゼンテーションで述べられている三桜工業株式会社の業績予想、計画、事業展開等に関しましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものです。

マクロ経済や当社の関連する業界の動向、新たな技術の進展等によっては、大きく変化する可能性があります。

従いまして、実際の業績等が本プレゼンテーションと異なるリスクや不確実性がありますことをご了承下さい。また、大きな変更がある場合は、その都度発表していく所存です。